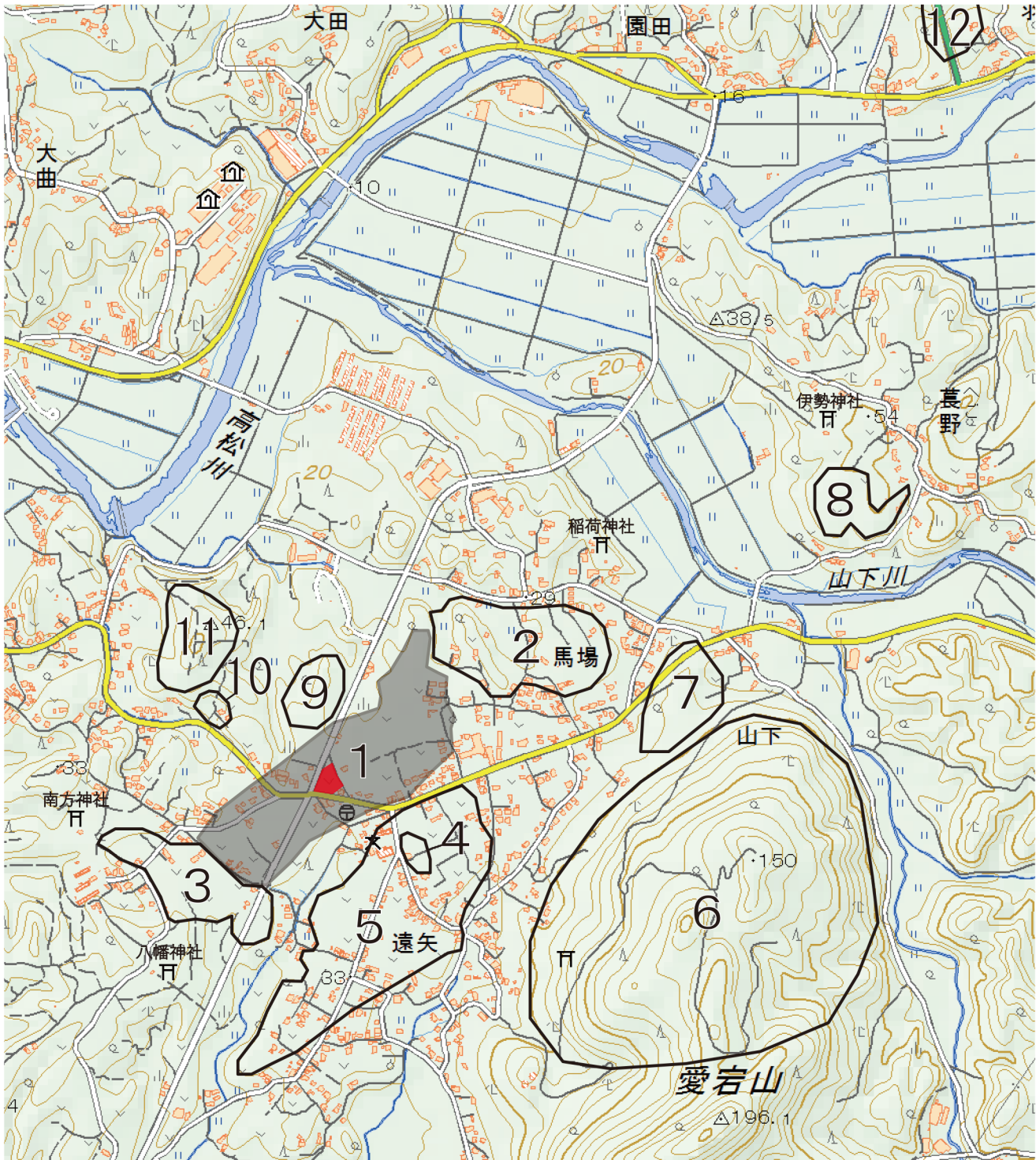




周辺遺跡位置図（1:12,500）■：令和2年度調査区

周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	主な時代	番号	遺跡名	主な時代
1	北山	古代, 中世	7	中之城跡	中世
2	新城跡	中世	8	蓑野	縄文時代, 弥生時代, 古墳時代, 古代, 中世
3	諏訪ノ前	古代, 中世	9	奥	縄文時代
4	楞嚴寺跡	中世, 中世 室町	10	大蔵庵	縄文時代, 弥生時代, 古墳時代, 古代, 中世
5	下谷	縄文時代, 弥生時代, 古墳時代, 古代, 中世	11	大石城跡	中世
6	阿久根城跡	中世	12	上野畑	縄文時代, 古墳時代, 古代, 中世, 近世

現地説明会資料

令和2年12月5日（土）

きた やま い せ き

北山遺跡

主催：（公財）鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター



共催：阿久根市教育委員会



◇ 北山遺跡について

北山遺跡は、阿久根市山下・波留に所在し、愛宕山山麓に広がる標高約33mの台地上にあります。南九州西回り自動車道路建設に伴い、令和2年度から発掘調査をおこなっています。

この地域は、延喜式（※）に記載されている古代の官道薩摩路の宿駅とされる英祢駅があったとされるところで、古代から中世にかけて“あくね”の中心的地域でした。

※延喜式：平安時代の国家制度についてまとめたもの



◇ 今年度の調査成果

10月からはじまった調査では古代（平安時代）から中世（室町時代）を中心とした遺物や遺構が確認されています。

遺構は11月現在で底付きの掘立柱建物跡2軒、堅穴建物跡2基、土坑

10基などが発見されました。

遺物は土師器や須恵器、播鉢、中国から持ち込まれた青磁や白磁などが出土し、当時の生活の様子を知るための遺物が多数発見されています。



遺構調査状況



遺物出土状況